令和４年度　県立水戸飯富特別支援学校　自己評価表

〔別紙様式２－１〕

目指す学校像	◆朗らかで楽しい学校 ◆穏やかで安心できる学校 ◆和やかで信頼される学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
・個別の指導計画については通年での目標設定とし、指導経過を表記できるよう様式を変更し効果的な活用に努めた。また ICT 機器を効果的に活用しながら業務管理や授業実践等を行い、効率的な教育活動の充実に努めることができた。 ・献立計画や栄養について、栄養授業を中心に実践できた。またいじめや児童生徒間のトラブル対応では、障害の特性からか周りにいる他の児童生徒の言動が気になるというケースが少数ながらいた。個別対応で継続支援していきたい。 ・キャリアパスポートの活用が定着し、効果的な活用ができた。またコロナ禍ではあったが、可能な範囲で現場実習等を実践できた。今後は個別面談や懇談会とも連携し、双方向の情報提供が可能な方法を工夫する必要がある。 ・幼児教育施設や小・中学校、高等学校、管轄市町村教育委員会の教育的ニーズに応じた相談支援を随時実施できた。外部専門家の活用で支援がより充実されたことから、今後も専門家との連携を図っていく。	１　一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	①　的確なアセスメントを基に、発達段階に応じた指導・支援を行う。 ②　個別の指導計画、個別の教育支援計画の丁寧な作成と活用を図る。 ③　新学習指導要領の目標・内容に基づいた指導の充実を図る。 ④　ICT機器の有効活用を推進し、多様な授業展開を図る。	B
	２　健康で安全・安心な学校づくり	⑤　食育・保健活動の充実を図り、健康な心と体の育成を図る。 ⑥　教育環境を整備し、安心して学べる学校づくりを目指す。 ⑦　いじめ・不登校・虐待等への予防的取組と組織的対応の充実を図る。 ⑧　コロナ禍における感染症防止対策の徹底を図る。 ⑨　防災教育の充実と災害マニュアルを見直して緊急時対応の強化を図る。 ⑩　業務改善を通して働き方改革を推進する。	B
	３　自立と社会参加に向けた教育活動の充実	⑪　基本的生活習慣スキル（挨拶・整容・姿勢・言葉遣い・時間管理等）と豊かな心の育成を図る。 ⑫　切れ目のない支援で、系統的なキャリア教育を推進する。 ⑬　進路選択を促す体験的な学習の充実と実践を図る。 ⑭　進路相談を充実させ、個に応じた適切な進路指導を行う。	B
	４　地域連携とセンター的機能の充実	⑮　保護者及び地域の関係機関との連携を強化する。 ⑯　電話相談及び巡回相談の充実を図る。 ⑰　本校教育活動を積極的に発信する。 ⑱　特別支援学校間の連携を強化する。 ⑲　地域交流・学校間交流・居住地校交流等の共同学習を推進する。 ⑳　服務規律の遵守とコンプライアンス意識の醸成を図る。	A

※評価基準　Ａ：十分達成できている　Ｂ：達成できている　Ｃ：概ね達成できている　Ｄ：不十分である　Ｅ：できていない